

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
33101	日本の生活文化 Culture of Livelihood in Japan	高橋知子		専門	1	選択	1・2年後期

科目の概要

現代日本は情報化が進展し、物質的にも豊かな生活を享受できている。その一方で、古くから受け継がれた年中行事、冠婚葬祭などの伝統的生活文化は、その伝承が薄らぎ、簡略化・変容しつつある。この授業では、日本の生活文化が生まれてきた過程を学習したうえで、現在の生活文化の動向にも注目する。また、世界から見た日本の文化にも触れ、伝統的生活文化の重みや今後のあるべき姿について考察する。

学修内容	到達目標
① 日本の生活文化を平安時代から現代までたどり、その特徴を、現代との対比のなかで認識する ② 年中行事、冠婚葬祭、信仰などに注目し、現代生活での変化を知り、伝統的生活文化についての理解を深める。 ③ 世界から見た日本の生活文化についても考え、今後の生活文化のあるべき姿を考察する。	① 現代に続く生活文化の歴史を理解し、その特徴を現代との対比の中で説明することができる。 ② 年中行事、冠婚葬祭、信仰における現代生活での変化について知り、伝統的生活文化について説明することができる。 ③ 世界から見た日本の生活文化について考え、今後の生活文化のあるべき姿について自分の意見を述べるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	講義内容で取り上げた課題について、自らの生活体験をもとに理解ができる。新聞などにより情報収集を積極的に行って知識を増やすことができる。
	働きかけ力	
	実行力	講義時間内は、集中力が切れないよう努め、緊張感をもって授業に臨むことができる。
考え抜く力	課題発見力	「知らない」から、「気づき」の方向へと自身の関心を向けることができる。そして気づいたことがらを、自身の考えるべき課題としてとらえることができる。
	計画力	
	創造力	講義内容を自らの生活に関連づけて考え、また、日本人の生活全体に考えを広げることができる。
チームで働く力	発信力	受講中、自分の考えをまとめて発言、または記述できる。
	傾聴力	講義に集中して受講でき、内容を理解できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語、携帯電話操作などを行わず、支障なく授業進行するための基本ルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：授業の内容にそったプリントを配布する。
参考文献：授業にそって紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「食生活ユニット」の諸科目、「国際交流フィールド」

学修上の助言	受講生とのルール
配布プリントに、講義時における補足を記入しておくことが望ましい。また、理解できない時は参考文献や辞書、パソコン検索などで確認しておく。	様々なメディアを通して、今、社会で何が起きているかを知り、自分なりにその原因や背景を考えてほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	62	①	✓	・授業の内容を充分・理解し、要点を把握しているかを評価する。 ・課題を発見し、適切に自身の主体的な考えを表明しているかを評価する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	28	①	✓	毎回、小テストを行い、内容を理解できているかを確認する。 テストの内容は、毎回のテーマに関するまとめの記述とする。	
				②	✓		
				③	✓		
				④			
				⑤			
		レポート			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)			①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 受講中の問いかけに、自己の生活経験を率直に発言できる。 (実行力) 受講中、私語などなく緊張感を維持して受講できる。 (課題発見力) 問題点を発見し、質疑での発言に結びつけることができる。 (創造力) 自らの生活を見直し、将来に向けての見解を述べるができる。 (発信力) 明確な言葉で他の受講生に理解が及ぶよう発言できる。 (傾聴力) 大事なことはメモしながらしっかりと聞くことができる。 (規律性) ・学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
筆記試験で、授業要点を8割以上理解し、説明できる。 筆記試験で自己の見解を論理的に記述することができる場合はA(優)とする。自己の見解に提言を含み、論理的に記述できる場合はS(秀)とする。 小テストをすべて論理的に記述できている。	筆記試験で、授業要点を6割以上理解し、説明できる。自己の見解を付加することができる場合をB(良)とし、感想にとどまる場合はC(可)とする。 小テストを記述できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「生活文化」で何を学ぶか 「生活文化」とは何かについて、事例をもとに考えてみる。	講義 小テスト	「生活文化」のカバーする範囲の広さについて説明できる。	配布プリントにより「生活文化とは何か」について復習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	平安時代の生活文化 国風文化が生まれた平安時代の生活文化を知り、現代に受け継がれた事例を探る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	現代にも残る平安時代の文化について、その一部を説明できる。	「平安時代」について予習する。配布プリントにより、現代に受け継がれた事例を復習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	鎌倉・室町時代の生活文化 この時代の武士の生活文化を知り、現代に受け継がれた事例を探る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	現代にも残る鎌倉室町時代の文化について、その一部を説明できる。	「鎌倉・室町時代」について予習する。配布プリントにより、現代に受け継がれた事例を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	江戸時代の生活文化① 町人文化が台頭した江戸時代の住生活、食生活について知り、現代の生活と比べてみる。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	江戸庶民の住生活、食生活の一部を説明することができる。	「江戸時代」について予習する。配布プリントにより、現代の食生活・住生活と比べながら復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	江戸時代の生活文化② 各地に残る伝統染織を調べ、江戸時代から行け継がれてきた手仕事の技術を知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	有松絞りについて説明できる。	「伝統染織」について予習する。配布プリントにより、手仕事の技術・有松絞りについて復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	江戸時代の生活文化③ 無駄のない都市・江戸の暮らし方を知り、現代のエネルギー消費について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	江戸時代の衣生活について説明できる。	「江戸時代の着物」について予習する。配布プリントにより、江戸時代の衣生活について復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	明治時代の生活文化 西洋文化の導入による明治以降の生活文化の変容を学ぶ。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	文明開化の過程で生まれた洋風文化の一部について説明できる。	「明治時代」について予習する。配布プリントにより、洋風文化について復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	大正時代の生活文化 現代にもつながる生活文化が生まれた大正時代、その息吹も含めて学ぶ。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	現代にもつながる生活様式の一部を説明できる。	「大正時代」について予習する。配布プリントにより、現代につながる事例を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	戦後の生活文化 高度経済成長を経て、大きく変化し続ける戦後日本の生活文化を知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	戦後からの変化について事例をあげて説明できる。	「高度経済成長」について予習する。配布プリントにより、戦後からの変化を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	人生儀礼と現代生活 誕生、成人、結婚など、人生での通過点での儀礼を知り、現代生活での変容について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	人生儀礼の一部を説明できる。	「人生儀礼」について予習する。配布プリントにより、人生儀礼の説明について復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	年中行事と現代生活 季節の節目に行われてきた行事について知り、現代生活での変容について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	年中行事の一部を説明できる。	「年中行事」について予習する。配布プリントにより、年中行事の事例を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	庶民の信仰と現代生活 江戸時代から現代までにみられるさまざまな民間信仰について知り、人々の思いについて考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	民間信仰の一部を説明できる。	「民間信仰」について予習する。配布プリントにより、現代に受け継がれた事例を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	世界の生活文化との比較① キリスト教徒の「祈り」の事例を紹介し、日本と他国の生活文化に共通するものについて考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	他国の生活文化にも興味を持つことができる。	「西欧の生活文化」について予習する。配布プリントにより、日本との共通点を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	世界の生活文化との比較② ジャポニズムや「kawaii」など、日本の生活文化が世界に与えた事例を紹介し、世界からの視点について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	「kawaii」文化について説明できる。	「kawaii文化」について予習する。配布プリントにより、世界から見た日本について復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	日本の生活文化(まとめ) 時代により変容する生活文化を、私たちは今後どのように継承していくべきかについて考える。	講義 グループ討議 討議講評を通してフィードバック	次代を担う人として、伝統文化について自己の見解を述べることができる。	講義録全体を再読し、討議内容を踏まえ、自己の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力、 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力